

衆院選決戦勝利へ!

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

2014年11月22日
No.248

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
<http://www.zengakuren.jp/>

昼休みのキャンパス内デモ! 先頭に東北大学
学生自治会執行部と京都大学同学会・作部君!



11/20 東北大集会ぶち抜く!!

「11・2弾圧」で不当逮捕された
3学友を11月21日に奪還!
完全黙秘・非転向で勝利!





昼集会と京大生の登場に圧倒的注目！



キャンパスに広がる討論の渦！

11月20日、東北大学学生自治会の主催で「安倍政権を倒すぞ！京大生と連帯し、戦争とめよう！ 11・20学生大会」を開催しました。この日は、学生大会の前段行動として昼休みに東北大学・川内北キャンパス中央で集会と学内デモを行いました。東北大学学生自治会委員長・青野弘明君の司会で集会が始まり、副委員長の川戸章裕君の基調提起と京都大学全学自治会同学会（以下、同学会）の仲間の特別アピールを軸に東北大生や駆け付けた全国の学生が発言し、夕方の学生大会への結集を呼びかけました。

夕方の学生大会は、初めて学生自治会運動に関わる学生が何人も飛び入りで参加し盛り上がりを見せました。基調報告を行った青野君は冒頭に「同学会を中心とした京大生の一連の闘いが連日メディアを賑わせ、『大学自治』とは何かということを全社会的に問いかけています。それは言い換えれば、大学が安倍政権の『戦争国家体制』の一翼に組み込まれることを許すのか否か、ということを問いかけるものであります。私たち東北大学学生自治会は、『大学の戦争協力阻止』を掲げる学生自治会の大衆的復権と組織拡大で、安倍政権と対決していく決意です」と語りました。

そして、安倍政権が経済的にも軍事的にも完

全に行き詰まり、労働者・学生の怒りによって追い詰められた結果、衆院解散に追い込まれたこと、だからこそ、安倍政権はますます凶暴に民衆の団結の拠点である労働組合や学生自治会を徹底的に破壊しようと攻撃を強めて来ていることを明らかにし、それが東北大学においては明善寮廃寮という形で象徴的に現れたのだと、この間の攻防を鮮明に捉え返しました。

さらに、特別報告に立った京大同学会・書記長の作部羊平君は、「自分たちの闘いは、学生の団結があれば国家による弾圧も粉碎できるということを示しました。普通は公安警察らしき人物を見つけたとしても自分の身が危ないと思って摘発するのを日和ってしまうと思います。しかし、僕たちの仲間はどう思ったか、“たとえ公安警察を摘発したことで報復の弾圧をされても、仲間が必ず自分のことを守ってくれる、弾圧されても終わりなどということではなく、その先で勝つことができる”——そう確信していたからこそ、今回の行動に立ち上がることができたのです」と、学生の団結が持つ力の可能性の大きさを訴えました。

また討議の時間には、初めて学生自治会の活動に参加した学生から「皆さんの話を聞いていて、社会を変える展望を具体的に持って活動していることが分かりました」と感動的な感想が述べられました。この他にも、“戦争反対と言っているが、具体的にはどのような方法で戦争を止めようとしているのを聞くために学生大会に来た”という学生の発言もあり、非常に活発で有意義な議論が交わされました。

学生大会で現執行部は解散となり、翌21日から28日まで次期執行部選挙が行われます。東北大生は、京大同学会のような闘いを実現することのできる学生の団結をつくる新執行部を必ずつくりだします。そして、その勝利と打ち立てられた団結でもって衆院選決戦に決起します。全ての学生に、二つの選挙決戦に決起することを訴えます！（東北大・MY）



夕方の学生大会の最後にシュプレッヒコール！

【当面する行動方針】

●武田雄飛丸君「無期停学処分」撤回裁判・第8回弁論

12月17日（水）13時10分～ 東京地裁705号法廷にて

●武田雄飛丸君「暴行」でっち上げ裁判・第5回公判

12月9日（火）13時半～ 東京地裁429号法廷にて

※傍聴券配布のため、13時までに裁判所入口脇に集合してください。

●武田雄飛丸君「暴行」でっち上げ裁判・第6回公判

12月25日（木）13時半～ 東京地裁429号法廷にて

※傍聴券配布のため、13時までに裁判所入口脇に集合してください。

